

第 24 回 JA 全農杯全国小学生選抜サッカー大会2025 名古屋地区 大会要項

1. 主 催 名古屋サッカー協会
2. 主 管 名古屋サッカー協会4種委員会
3. 後 援 公益財団法人愛知県サッカー協会
4. 協 賛
5. 協 力 公益財団法人愛知県サッカー協会4種委員会
6. 日 程 2025 年4月 6 日(日)～5月11日(日)
7. 会 場 各会場
代表決定戦は口論義運動公園サッカー場、松屋地所フレッチフィールド

8. 大会役員

| | | | | |
|----------|-------|-------|--------|--------|
| 大会運営委員長 | 尾関 友英 | | | |
| 大会運営副委員長 | 横山 彰一 | | | |
| 大会運営委員 | 加藤 宏之 | 伊福 正史 | 鈴木 理一郎 | 高倉 佑基 |
| | 安田 巧 | 岡田 侑土 | 松井 弘道 | 石割 諒 |
| | 杉浦 一輝 | 田中 裕明 | 内山 雄一郎 | 平岩 由美子 |
| 競技委員長 | 伊福 正史 | | | |
| 競技委員 | 安田 巧 | 岡田 侑土 | 松井 弘道 | 平子 陽亮 |
| 審判委員長 | 杉浦 一輝 | | | |
| 審判委員 | 田中 裕明 | | | |
| 規律委員長 | 尾関 友英 | | | |
| 規律委員 | 横山 彰一 | 加藤 宏之 | 伊福 正史 | 鈴木 理一郎 |
| | 杉浦 一輝 | 高倉 佑基 | | |

9. 参加資格

- ① 「参加チーム」は、2025 年度(公財)愛知県サッカー協会(以下「本協会」)第4種に加盟登録したチーム(以下「加盟チーム」)であること。
- ② 上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
- ③ 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であり、5年生以下であること。
- ④ 地区予選大会から県大会に至るまでに、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。
- ⑤ 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、ベンチ入りするチーム役員の内1名以上が日本サッカー協会(以下「JFA」)公認指導者ライセンス(D 級コーチライセンス以上)を有すること。

10. 参加チームとその数

参加チームは申し込みを受け付けたチームとする。単一「加盟チーム」から複数チームが出場できる。

11.大会形式

- ① 参加チームのシードチームは代表決定戦からの出場とし、その他は予選リーグからの出場とする。
- ② 予選リーグは 5 チームまたは4チームのリーグ戦を行う。予選リーグの 1 位、2 位が代表決定戦に出場する。
- ③ 代表決定戦は参加費 2,000 円を追加徴収いたします。

- ④ 予選リーグ戦における順位の決定方法は、勝利3点、引分1点、負0点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。
- ◆ 全試合の得失点差(総得点－総失点)
 - ◆ 全試合の総得点
 - ◆ 当該チーム同士の対戦成績(勝敗)
 - ◆ 全項目において同一の場合は、PK戦(3人制)により決定する。3人ずつで勝敗が決まらない場合は、以降1人ずつのサドンデス方式とする。

12. 競技規則

2024/2025 の JFA「サッカー競技規則」および「8人制サッカー競技規則」による。

13. 競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

① 競技のフィールド

- ◆ フィールドの表面は、クレー、人工芝または天然芝とする。
- ◆ フィールドの大きさ 長さ(タッチライン)68m 以下、幅(ゴールライン)50m 以下
- ◆ ペナルティーエリア 12m
- ◆ ペナルティーマーク 8m
- ◆ ペナルティーアークの半径 7m
- ◆ ゴールエリア 4m
- ◆ センターサークルの半径 7m

② ボール

試合球は4号球とし、当該チームが1球ずつ試合球を用意する。

③ 競技者の数

- ◆ 競技者の人数 8名(試合成立には6名以上が必要)
- ◆ 交代要員の人数 メンバー表に登録された競技者以外の人数
- ◆ 交代を行うことができる人数 制限なし(交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる)

④ ベンチ入りするチーム役員の数

3名以下(これに反した場合には、チーム役員に対し規律委員会より懲罰を科す。)なお、1名以上が JFA 公認指導者ライセンス(D 級コーチライセンス以上)を有すること。

- ◆ 2026年度よりベンチ入りするチーム役員の全員が日本サッカー協会(以下「JFA」)公認指導者ライセンス(D 級コーチライセンス以上)が必要となる。

⑤ 審判員

- ◆ 予選リーグと代表決定戦は必ず審判員を1名帯同させる。ただし、1試合目の審判については、主審・補助審判は話し合いで決めること。(主審を上級資格者が担当することが望ましい。)
- ◆ 帯同審判員がない場合は規律委員会の審議対象となる。
- ◆ 担当審判員は4級以上の有資格者とする(無資格者は不可)。必ずワッパンを装着すること。審判証は持参し、本部に提示する。(担当審判員は本人に限る)

⑥ テクニカルエリア

設置する。また、戦術的指示はテクニカルエリア内から、その都度ただ1人の引率指導者が伝えることができる。

⑦ 競技者の用具・ユニフォーム

- (1) 本競技会の大会要項に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
- (2) ユニフォームの色彩は、フィールドプレイヤー(以下 FP)およびゴールプレイヤー(以下 GP)ともに審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- (3) 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツおよびソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。(選手チェックの際に着用し、本部の確認をうけること。)正・副の2色については明確に異なる色とする。
- (4) ユニフォームが揃わない場合、揃うまでの間はビブスでの参加も認める。但し、背番号が重複しない様に当日のメンバー表に、着用するビブスの番号を記入すること。ビブスの下に着用するシャツ及びショーツ・ソックスは全員が同色であることが望ましい。
- (5) 審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- (6) 前項の場合、審判員は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツおよびソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- (7) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- (8) アンダーシャツ、アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。FP についてはチーム内で同色のものを着用する。(チーム内でアンダーシャツ着用、未着用の混在も可とする。)
- (9) GP で出場する選手は、GP ユニフォームのシャツを必ず着用すること。ショーツおよびソックスについては、FP 用・GP 用いずれの着用も認める。
【選手番号 通称「背番号」のこと】
- (10) GP の選手番号については、出場選手の登録番号以外でも可とする。また、エントリー表に未登録の番号でも可とする。(例えば、選手番号【1】の GP ユニフォームを他の選手番号の選手が着用して出場しても良い。)
- (11) GP から交代した選手が FP として出場する場合は、登録した選手番号の付いたユニフォームを着用すること。(GP の選手番号と FP の選手番号が被ることも可とする。)
- (12) FP 用シャツの前面・背面には、参加申込の際に登録した選手番号を付けること。
- (13) GP 用シャツについては、登録した選手番号または未登録の番号でも可とする。FP の選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。

⑧ 試合時間

- ◆ 試合時間は40分(前後半各20分)とする。
- ◆ ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)は原則 5 分間とする。
- ◆ 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合、予選リーグは引き分けとする。代表決定戦はペナルティシュートアウトにより勝利チームを決定する。(3人制)
- ◆ ペナルティシュートアウトに入る前のインターバルは原則 1 分間とする。
- ◆ アディショナルタイムの表示は行わない。

⑨ 交代の手続き

- ◆ 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。ただし、交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。
- ◆ 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
- ◆ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
- ◆ 交代は、主審、補助審判の承認を得る必要はない。
- ◆ ゴールプレーヤーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- ◆ 交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

⑩ 負傷者の対応

主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。

14. 懲罰

- ① 予選(地区大会)は、懲罰規定上の当該競技会とみなし、予選終了時点で退場による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。(地区大会での累積警告は、県大会へは持ち越さない。ただし、地区大会最終戦において警告を受け次試合を出場停止となる場合には、県大会初戦が該当試合となる。)
- ② 本大会の規律委員長および規律委員については[7.の大会役員]に示したとおり。
- ③ 本大会期間中に警告を2回受けた選手およびチーム役員は、本大会の次の1試合に出場できない。
- ④ 本大会において退場を命じられた選手およびチーム役員は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- ⑤ 本協会諸規程および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

15. 選手証

参加選手は選手証を持参し、試合会場で試合開始30分前までに大会本部にてチェックを受けること。

選手証は、選手1人ずつの形式とする。メンバー表は、1試合毎に大会本部へ提出すること。

16. その他

- ① 大会参加者は必ず傷害保険に加入していること。未加入者は参加を認めない。
- ② 大会組合せは2025年3月16日(日)の抽選会及び監督会議にて決定する。
- ③ 参加費については指定口座への振り込みとする。(口座、振込期間は抽選会及び会議の際にお知らせします。)
- ④ 参加チームは各団体必ず代表者1名は出席する。代表者1名で同団体から出場する複数チームの抽選をすることができる。
- ⑤ 不正行為が発覚した場合は、規律委員会に諮る。
- ⑥ チーム事情による抽選会後の日程の変更や会場の変更は認めない(学校行事を含む)。
- ⑦ 本大会の各トーナメントの1位のチームがJA全農杯全国小学生選抜サッカー大会愛知県大会に参加することができる。
- ⑧ 雨天決行ではあるがやむを得ず中止とする場合(暴風警報・大雨警報等)がある。
- ⑨ 開催の有無は朝6時に決定し、各会場担当者から参加チームへ知らせる。
- ⑩ 試合前のチェックでは、会場責任者が選手証・道具・爪・審判証・指導者ライセンスを確認する。
- ⑪ 2試合目のチームは会場設営準備のため、各会場第1試合の1時間半前に集合のこと(各チーム1名以上)。
- ⑫ 大会の申し込みは、Googleフォームからのお申し込みを2025年2月28日(金)までに競技委員長にメールで提出して完了とする。なお、申し込みの問題があった場合は規律委員会に諮る。
- ⑬ 会議の際にメンバー表を2部提出。
- ⑭ 提出様式は、指定のExcelファイルとする。配布ファイルの改ざん・修正は行わないこと。

- ⑮ 諸事情により試合実施が困難となった場合には、抽選により名古屋地区代表チームを決定する。
- ⑯ 各会場の駐車場は会場担当者の指示にしたがい、アップエリアと応援エリアは、会場担当に確認してください。
- ⑰ ウォーミングアップのときはビブスを着用してください。
- ⑱ 会場の開場時間前に来場しないようにしてください。
- ⑲ 補助審は補助審席を設け主審が審判をできなくなったときに交代をお願いします。補助審は上着を着用しても構わない。
- ⑳ その他、不明な点については、競技委員長に問い合わせのこと。
メール nagoyafa.4+ja@gmail.com

| 会場 | 注意事項 |
|---------------|---|
| 松屋地所フレッチフィールド | 駐車台数 制限なし 駐車場所 コインパーキングを利用 その他 施設出入口付近での選手の乗降はご遠慮下さい。 車道との境界の柵に腰掛けしないで下さい。路上駐車、禁止です。 街路樹よりグラウンド側で観戦して下さい。車道では観戦しないで下さい。 グラウンド施設周辺は歩道・車道も含め禁煙エリアです。 |
| 口論議運動公園サッカー場 | 特になし |
| | |
| | |